



腹痛が続く場合に注意

過敏性腸症候群と

炎症性腸疾患



男子大学生が、「いつもお腹が痛い、下痢を繰り返す」と訴えた場合、どんな病気を考えますか？悲観的な人なら、大腸癌を気にするかもしれませんが、楽観的な人ならストレスだよ、の一言で片付けられそうです。実際には、その楽観的判断は正しいことが多く、これを過敏性腸症候群または過敏性腸炎といえます。腸が過敏に動くことで、お腹が痛んだり、下痢になったり、時には便秘になったりする病気です。この病気の診断の基本は、過敏性腸症候群であることを証明するのではなく、過敏性腸症候群以外の病気を全て除外することなのです。すなわち、腸が過敏に動くこと以外の異常がない、ということを確認めるのです。過敏性腸炎という名前です。過敏性腸炎が荒れているように感じますが、実際には腸は荒れていないのです。

が、特に若い人の場合は、炎症性腸疾患と呼ばれる二つの比較的可能な腸炎である、クローン病と潰瘍性大腸炎を考へなければなりません。クローン病は□から肛門に至る全消化管に深い炎症やキズを作り、また潰瘍性大腸炎は大腸に広くて浅い炎症やキズを作り、腹痛や下痢や血便をおこします。これらは腸の検査をしないとわかりません。症状だけでは、過敏性腸症候群なのか炎症性腸疾患なのか判断できないのです。若い人に多いとはいえ、高齢者にも起こり得ます。腹部症状が続く場合は、以上のことを頭の片隅に置いて、胃腸の専門病院を受診して頂きたいのです。

腹痛や下痢が続けば、一般的に慢性腸炎と診断します